

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	子宮体癌発症における子宮内膜症の関連
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者：新潟大学医歯学総合病院で手術を施行された子宮体癌の患者様 対象期間：2002年1月1日から2022年12月31日まで
概要：	子宮内膜症は、女性特有の婦人科良性疾患で、慢性骨盤痛、月経困難症、不妊症など様々な症状を引き起こし、生活の質の低下につながります。また、子宮内膜症は一定の割合で癌化し、卵巣癌の前癌病変であることが知られています。一方、婦人科癌で卵巣癌同様、代表的な子宮体癌と子宮内膜症の関連の有無については科学的に証明されていません。しかし、子宮体癌と子宮内膜症はエストロゲンという女性ホルモン依存性の疾患であり、両疾患には、不妊症、未婚、初潮が早いなど、エストロゲン依存性に関連する共通の危険因子があります。さらに、子宮体癌と子宮内膜症には共通して高頻度に検出される遺伝子異常が存在することが明らかにされています。本研究で、子宮内膜症と子宮体癌の関連を明らかにすることで子宮内膜症発症や、癌化のメカニズム解明、子宮体癌発症予防につながる可能性があると考えています。
③ 申請番号	2023-0201
④ 研究の目的・意義	子宮内膜症と子宮体癌との関連を明らかとすることで、子宮内膜症発症や癌化のメカニズム解明、子宮体癌発症予防につなげること。
⑤ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2028年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学産婦人科学教室で施行された子宮体癌患者様の診療録の情報を利用します。提供していただく情報については、氏名や診療番号を消して、解析データと一部の診療録の情報のみを利用します（いわゆる匿名化）。処理した情報は、あとで遡って個人を特定することはできません。また、得られたデータが医学の発展や人類に有益と考えられる場合には個人が特定できない形で学会発表や論文化する可能性があります。
⑧利用または提供する情報の項目	新潟大学産婦人科学教室で手術療法を行った子宮体癌患者様の診療録（手術内容、合併症、既往歴、月経情報、妊娠出産歴について等）
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科 助教 谷地田希 新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科 教授 吉原弘祐 新潟大学地域医療教育センター 魚沼基幹病院 部長 南川高廣
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科 教授 吉原弘祐
⑪お問い合わせ先	本研究に対する参加拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記に

早めにご連絡をお願いします。研究に拒否された場合には迅速に保管している情報の適切な処理、論文化されていない場合にはデータの削除を行います。尚、参加を拒否された場合に、対象者、ご家族に対して一切の不利益は生じません。

所属：新潟大学 産婦人科

氏名：谷地田希

Tel：025-227-2320

E-mail：nyachida@med.niigata-u.ac.jp